



緑丘トピックス

平成 29 年度
第 3 号

9月28日(木) 発行



Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021



「いつのまにやら」 校長 吉瀬 献策

校門の脇の小さなスペースには花壇と畑があります。学校に潤いをと、ひとりの先生が種をまき丹精込めて手入れをしてくださり、目下、マリーゴールドは元気な色で生徒を迎えトマトのみずみずしさはここに多くの若者が集っていることを象徴しています。炎天下の休日にも、部活動指導の合間に水をやり雑草を抜いておられる姿を何度も見かけました。

先日の台風一過の翌日、倒木を片付け、国旗掲揚塔の剥落したたくさんのタイルを一枚一枚修理してくださる業務員さん方の姿がありました。

小学校へつづく交差点で、毎朝、「緑のおじさん」は、高校生にも温かい眼差しと声を掛けてくださいます。バス停で生徒と声を交わすいつもの女性の表情からは、おらが地元の高校生だという認識がうかがえます。

今年になり、各種の行事やボランティア活動のお誘いを受ける機会が増え、生徒や先生方が出向いて地域との交流が深まっています。過日は、地元町内会から部活動への差し入れと励ましの声をいただきました。

6年振りに復活した強歩大会のコース整備に、雨そぼ降る中、下草刈りに汗を流す先生方の姿がありました。教頭先生は、週末も人知れず草刈り機を操っておられました。大会当日は、関門や要所で、保護者の方々が陽に曝されながら眼前の生徒諸君の健闘ぶりに目を細めていらっしゃいました。学校祭でも、2日間連続、中庭のバザーで生徒と一緒に油と格闘する姿が認められました。

先日開催された、文部科学省の研究指定事業に係る研究協議会で来校された調査官からは、本校の研究の取組に対してエールを送っていただくとともに、日本の教育を牽引する方々の熱い思いを感じ取ることができました。よし、やるぞ！という気合いも。

そんな折、早朝のJアラートの鳴動。学校現場で防空頭巾をかぶり避難訓練を実施する時代を、ここ日本において迎えたのでしょうか？校舎から有珠や羊蹄を背景に黒煙に包まれた町並みを見やる時を迎えるのでしょうか？多様性の時代にあって、相手を思いやり尊重する態度の大切さや他者との共生の大事を説く大人への不信の眼差しに對峙する我々教育者は、そのときどんな表情を浮かべればよいのでしょうか？

子ども達を巡る先に述べたそうした我々大人のささやかな営みをずっとつづけていけるよう、祈るだけです。

1学年縄文体験学習 史跡見学や植樹体験

9月20日、1学年の生徒たちが伊達市の「北黄金貝塚公園」を訪れ、伊達市噴火湾文化研究所の青野友哉先生をはじめ、伊達市及び洞爺湖町の学芸員の方々のご指導のもと、「縄文遺跡体験学習」を行いました。この取り組みは、総合学習の一環として例年実施している本校の特色の学びの一つです。昨年度から、文部科学省の研究指定校事業（地理歴史科）とも連携し、縄文文化を地理と歴史の両面から総合的に捉えた学習をしています。

前日の9月19日には、世界史の中の縄文文化などについて事前学習を行って、この縄文体験学習に臨みました。午前中は2クラスずつに分かれて「遺跡探検」と「植樹体験」を行いました。遺跡探検では、講師の先生方のガイドにより史跡内の遺跡などを巡り、今とは違う当時の生活や環境について学びました。植樹体験では、本校の先輩たちが1年次に植えた苗木を植樹し、かつての縄文の森の復活に一役買いました。自然と共に生きた縄文人の豊か



さや環境を守っていくことの大切さを考える機会となりました。

午後からは「火おこし体験」や「発掘体験」などが予定されていましたが、天気が崩れて雷雨となり残念ながら午前で終了となりました。しかしながら、生徒たちは身近な地域の遺跡から縄文人の生き方に触れるとともに自然、環境や文化の大切さや命の尊さについて学びとってくれたことと思います。

お世話になりました講師の皆様、施設の皆様に深く感謝申し上げます。



中学生向け学校見学会 学校紹介と生徒交流

9月14日、本校で中学校の生徒

・保護者・教職員の皆さんを対象とした「学校見学会」を実施しました。

今年度は237名の中学生と32名の保護者・教職員の方々が来校し、学校説明をはじめ、本校生徒との交流会、体験授業、部活動見学を行いました。

体育館での全体会では、合唱部と吹奏楽部の歓迎演奏に続き、生徒会執行部の生徒たちが作成したスライドをもとに学校行事や進路のことなど高校生活について説明しました。説明の後、中学校別に15名ほどのグループに分かれ、本校2学年の生徒たちの司会により、自己紹介や質問、本校の魅力の紹介などで盛り上がり交流を深めました。



続いての体験授業では、あらかじめ選んでいただいた希望により各教室に分かれて、本校の教員による授業を体験してもらいました。授業は、国語、社会、数学、理科、英語、保健、家庭、音楽、情報の9教科で行いました。「日常生活の中の古典」、「英語によるコミュニケーション」、

「数学から数楽へ」、「体を使ったリズムパフォーマンス」などのテーマに沿って楽しく学習して、他校の生徒や本校の教員とも交流を深めました。

放課後の部活動にもたくさんの中学生が見学に来てくれました。

全校生徒のつながりが深く、落ち着いて学ぶことができる伊達緑丘高校に入学してくれることを願っています。



勇壮な山車とともに 伊達武者まつりに参加!!

8月5日・6日に開催された『伊達武者まつり』の「武者山車」の行列に、野球部・バドミントン部・バスケットボール部・ソフトテニス

部・演劇部の有志約50名と教職員が参加して、市民や観光客の目を楽しませました。スクールカラーであるディーブグリーンの法被を身にまとい、強歩大会に合わせ新調された幟を掲げて、伊達紋別駅をスタートし山車を力強く引きながら、音楽に合わせて踊りながら伊達市内を練り歩きました。

本校では、地域行事への参加を通して、主体的に行動し地域社会に貢献できる生徒の育成を図ります。



とみどり Midorigaoka よい撮い緑 2017年7~9月

◆◆◆ 7月13日(木) 北海道みんなの日地域学習



様々な地域活動を行っている西條晴彦氏を講師にお招きし、地域の歴史・文化について学ぶ貴重な機会となりました。

◆◆◆ 7月18日(火) 2学年キャリアデザイン講座



札幌大谷大学から教授2名、学生2名をお招きし、最新のデータや学生の生の声を通しキャリア形成について学びました。

◆◆◆◆◆ 7月20日(木) 3学年バス遠足



3学年の生徒たちがバス遠足でルスツリゾートに行きました。本格的な受験シーズンを前に研修・交流を深めました。

◆◆◆◆◆ 8月22日(火) 3学年進路講演会



教育委員会とベネッセから講師をお招きし就職希望者と大学進学希望者向けに手続きや準備、心構えなど学びました。

◆◆◆◆◆ 9月11日(月) 1学年性に関する講座



思春期保健相談士の高村泰子先生を講師としてお招きし性知識や男女の豊かな人間関係を築くための考えを深めました。

——— ホームページでも学校生活を紹介しています! ———

行事をはじめ、日々の生活や配付物(通信等)を日々公開・更新しております⇒ <http://www.datemidorigaoka.hokkaido-c.ed.jp>



10月の行事予定

高大連携事業(2年)⇒ 10月10日(火)
宿泊研修(1年)⇒ 10月12日(木)~14日(土)
大学入試センター試験出願(3年)⇒ 上旬

日 曜	行 事 予 定
1 日	学期間休業 第4回道看模試(3年)
2 月	後期始業式
3 火	
4 水	
5 木	思春期講演会(2年)
6 金	秋季避難訓練 英語検定
7 土	第3回全統マーク模試①(3年)
8 日	第3回全統マーク模試②(3年)
9 月	体育の日
10 火	高大連携事業(2年)
11 水	宿泊研修結団式(1学年4時間日程) 教科指導講座会場校(道南ブロック・外国語)
12 木	宿泊研修①(1年)
13 金	宿泊研修②(1年)
14 土	宿泊研修③(1年) 第2回ベネッセ・駿台記述模試(3年)
15 日	
16 月	宿泊研修振替休業(1年)
17 火	
18 水	
19 木	ALT来校
20 金	漢字検定
21 土	第3回全統記述模試(3年)
22 日	
23 月	性に関する講演会(3年)
24 火	
25 水	
26 木	職員会議 ALT来校
27 金	生徒会役員選挙
28 土	進研総合学力模試(1・2年) 第3回全統記述模試(3年) 第2回高2公務員模試(2年)
29 日	
30 月	
31 火	

★諸事情により変更となることもありますので、ご了承をお願いします。



教育課程研究指定校事業 研究協議会を行いました

本校は、平成28・29年度の2年間にわたり文部科学省の国立教育政策研究所が実施している「教育課程研究指定校事業(高等学校・地理歴史)」の指定を受け、「地理歴史科における科目相互の連携」をテーマに研究実践を行い、生徒の学ぶ意欲や思考力・表現力等などの学力向上を目指して授業改善や教材開発に取り組んでいます。

9月12日には、本校で研究協議会を実施し文部科学省から2名の教育課程調査官をお招きしたほか、全道から多くの先生方が参加され研究授業や講演、研究協議を行い意見交換をするなど、有意義な研修の機会となりました。公開した「世界史A」「日本史A」の授業では、生徒同士で討論しながら考えをまとめ、発表する学習活動が行われ意欲的に取り組んでいました。

